

二岐・岩瀬湯本・天栄温泉
国民保養温泉地計画書

令和5年3月
環境省

目 次

- 1 . 温泉地の概要
 - 2 . 計画の基本方針
 - 3 . 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策
 - 4 . 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等
 - 5 . 温泉資源の保護に関する取組方針
 - 6 . 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策
 - 7 . 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策
 - 8 . 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画
 - 9 . 災害防止対策に係る計画及び措置
- 添付
- 1 . 国民保養温泉地位置図
 - 2 . 国民保養温泉地区域図

1. 温泉地の概要

本計画書において、福島県天栄村の3温泉地（二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉）について記載する。総面積は5.34ha（地図上測定）となっている。以下、各温泉地の概要を示す。

二岐温泉は、福島県天栄村の二岐山（標高1,544m）の麓、標高約800mに位置し、福島県南西部のブナの原生林に囲まれた山深い山間で会津地方と中通り地方の境界、二俣川の渓谷沿いにある温泉郷である。効能が豊富であることから多くの人気を集めている。開湯は約1,000年前の969年（安和2年）まで遡る。平安時代には、すでに温泉が湧いていたと伝えられ歴史が長く、古くは「二俣」と記され、徳川時代から明治時代にかけては「二股」と、そして現在は「二岐」と記されている。徳川時代に発行されたわが国最初の山岳本「日本名山図会」には、全国90の名山の中に二股山がノミネートされている。平家落人が隠れ住んでいたとも伝えられており、その関係であろうか、二岐地区では、人目に付きやすい祭りの幟や煙の出る狼煙、時を告げる鶏の飼育などが禁じられていたそうである。本温泉地の面積は4.68haである。

岩瀬湯本温泉は、村の西部を流れる清流二俣川と鶴沼川に挟まれた山間の温泉であり、9世紀のはじめ頃に嵯峨天皇が病気になり、これを癒すための温泉を探す命を受けた天皇側近の公家、星右京之進、若狭之助、丹波の3兄弟によって発見されたと伝えられており、開湯も同時期とされている。皮膚についた塩分が身体からの水分の蒸発を防ぎ湯上がり後もなお身体が温まっているのが特徴で、婦人病や消化器病、糖尿病、神経痛、切り傷、火傷などに効果があり、現在も多くの湯治客からの人気を集めている。湯本地区にある湯泉八幡神社には、その由緒ある伝説を今に伝える菊花紋章が残されている。景観も人気を集めており、閑静に建ち並ぶ茅葺き屋根の温泉宿が昔ながらの風情と素朴な懐かしさを残している。本温泉地の面積は0.41haである。

天栄温泉は、開湯が明治時代といわれ、動脈硬化症・切り傷・火傷・慢性皮膚病などに効果がある療養泉で、施設が1軒のみの温泉である。国道沿いに佇むこの温泉は、アクセスの良さと大自然を満喫しつつ療養できることで知られ、多くの利用客からの人気を集める温泉である。本温泉地の面積は0.25haである。

天栄村西部に位置するこれらの温泉地周辺には、二岐山のほか、ウォーキングコースやアクティビティを楽しめるリゾート施設、スキー場やゴルフ場といった施設が多く隣接しており、温泉入浴に加えて、スポーツやアウトドアを通じて健康増進を図ることができる。

泉質は、二岐温泉がカルシウム 硫酸塩泉、岩瀬湯本温泉はナトリウム・カルシウム 塩化物泉、天栄温泉はカルシウム・マグネシウム・アルミニウム 硫酸塩泉で、いずれも豊富な効能がある。



二岐温泉



岩瀬湯本温泉



天栄温泉

2. 計画の基本方針

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉は、いずれも古くから保養や療養などの湯治場として、特に中高年齢層に人気が高い温泉地であることから、健康増進に繋げるための温泉地づくりを行いつつ、東日本大震災により減少した利用客を取り戻し活気ある温泉地とするため、湯治客のみならず観光客も増加していくような魅力ある温泉地を目指していく。

訪問客に多く利用してもらえるよう村内外へ広くPRを行う。

各温泉地の自然豊かな環境を活かした事業を展開していく。

各温泉の湯治場としての昔ながらの温泉街の景観や風情を継続して保全していく。

各温泉地の歴史や文化、風土を継承していく。

3. 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策

(1) 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要

天栄村は、福島県の中通りとよばれる地方の南部に位置し、昭和30年の4ヵ村合併の折、村中央部にそびえ、金山として栄えた天栄山にあやかり天栄村と名付けられた。村の総面積は225.6km²。令和2年度には村制施行65周年記念式典が開催された。

また、天栄山の西側に分水嶺をなす鳳坂峠があり、これを境とした東部地域は阿武隈川支流に沿った耕地が拓けた稲作中心の農村地帯となっている。東部地区は天栄村の農産物三大ブランドである「天栄米」「天栄長ネギ」「天栄ヤーコン」の産地で、特に「天栄米」は「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」において最高部門にあたる国際総合部門で11回金賞を受賞(2008年度から2016年度まで9年連続受賞および2019年度から2022年度受賞)している、いわば“世界一”のお米である。一方、西部地域は那須連山の山懐に抱かれた地域で、大半が県立自然公園に指定され、羽鳥湖や二岐山などの観光資源に恵まれており、二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉もこの地域に存在している。羽鳥湖は、その景観の人気が高く、展望台から見る羽鳥湖は季節によって表情を変えるため、1年中楽しめるスポットとして知られている。二岐山は、天栄村の村章にも使われている、まさに村のシンボルともいえる山であり、毎年5月下旬から6月上旬に山開きが行われ、県内外から多くの登山家が参加している。また、スキー場・ゴルフ場等の整備によりリゾート化が進んだ羽鳥湖高原を中心とする観光地として賑わいのある地域である。さらに、天栄村には、縄文時代の狩猟中心の生活を垣間見せる県内屈指の集落群「桑名邸遺跡」、福島県指定重要文化財の「龍ヶ塚古墳」、湯本地区の「馬頭観音座像」や安養寺地区の「法燈国師座像」など、多くの歴史や文化にも恵まれている。

いずれも人気の高い温泉地だが、平成23年に発生した東日本大震災及び東京電力福島第一原発事故以降、各温泉の利用客が激減し、震災及び事故から10年経過した現在においても、震災以前の利用客数に未だ及ばないなど風評被害による影響が続いている。また、近年は全国的な新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、宿泊客をはじめとする観光客入込客数が大きな影響を受けている。



天栄米



羽鳥湖



スキー場

(2) 取組の現状

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉の各温泉は、天栄村や天栄村観光協会を中心とするイベントに参加し、様々なPR活動を行っている。特に、毎年5月下旬から6月上旬に開催される「二岐山山開き」では、二岐温泉旅館組合や岩瀬湯本温泉旅館組合も参加し、参加者全員に二岐温泉及び岩瀬湯本温泉の無料入浴券を配布し、PRも兼ねて利用客の増進に努めている。また、毎年ゴールデンウィーク前に行われる天栄村観光協会主催の環境美化作業にも参加し、多くの参加者により、目につきやすい道路等から普段目の届かない箇所まで目を凝らしてゴミを拾い、観光地や温泉地の美しい景観と環境が守られている。さらに、湯本地区は「ほたるの里」とも呼ばれており、毎年夏になると真っ暗な闇の中で鮮やかに輝く蛍が見ることができ、宿泊客を対象とした鑑賞会なども開催されている。上記の環境美化作業は、このような「ほたるの里」を守る取り組みにも繋がっている。



二岐山山開き



環境美化作業

(3) 今後の取組方策

各温泉において、さらに自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等を図るため、関係機関等と調整の上、(2)の取組を継続する。また、一番利用率の高い中高年層に向けて健康増進のための取り組みを強化するとともに、連泊増進のためのPR活動や新規プランの作成等にも力を入れていく。東日本大震災等による影響で廃業となる施設も増える昨今、天栄村観光協会や各温泉旅館組合等が一丸となって温泉地の再興と活性化を目指していく。

4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等

(1) 医師又は人材の配置の状況

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉では、現時点では医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導を行う医師又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導を行う人材を配置していないが、今後、(2)に記載する配置・育成等に取り組む。

(2) 配置計画又は育成方針等

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉では、医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導を行う医師を配置することとしており、その計画は、以下のとおりである。

氏名	専門分野	活動内容	配置予定年度
湯本診療所 所長(医師) 本村 和則	内科	湯本診療所において、適正な温泉利用や健康管理についての指導などの温泉療養相談等を随時実施する。	R5年度～

5. 温泉資源の保護に関する取組方針

(1) 温泉資源の状況

二岐温泉における主な泉質は硫酸塩泉である。現在8本の源泉が6軒の宿泊施設で利用されており、複数の源泉を有する施設もある。岩瀬湯本温泉の泉質は塩化物泉であり、現在2軒の宿泊施設で浴用として利用されている。天栄温泉の泉質は硫酸塩泉であり、1軒の宿泊施設で浴用として利用されている。なお、天栄温泉においては、湧出量も少ないことから一部加水をし、加熱により浴水として利用している。

源泉	温度 ()	湧出量 (l/min)	泉質	湧出状況	所有者	利用施設
二岐2号線	51.8	39	加鈣-硫酸塩泉	自然湧出	民間	旅館1施設
二岐3号泉	52.5	20	加鈣 硫酸塩泉	自然湧出	民間	旅館1施設
二岐5号泉	45.8	15	加鈣 硫酸塩泉	自然湧出		
二岐 8,9,14 号混合泉	49.5	149	加鈣 硫酸塩泉	自然湧出		
二岐 4,5,12 号混合泉	51.8	130	加鈣 硫酸塩泉	自然湧出	民間	旅館2施設
二岐7号泉	52.3	30.3	加鈣 硫酸塩泉	自然湧出	民間	旅館1施設
二岐10号泉	53.8	54	加鈣 硫酸塩泉	自然湧出	民間	旅館1施設
二岐14号泉	50.2	20.5	加鈣-硫酸塩泉	自然湧出	民間	旅館1施設
湯本(内湯) 温泉	49.5	70	ナリウム・加鈣 塩化物温泉	自然湧出	民間	旅館2施設

天栄一号泉	6.3	1.2	加シウム・マグネシウム・アルミニウム 硫酸塩泉	自然湧出	民間	旅館 1 施設
-------	-----	-----	-------------------------	------	----	---------

(2) 取組の現状

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉における各源泉について、講じている保護に関する取り組みの状況は、以下のとおりである。

源泉	取組	実施主体	実施年度
二岐温泉	温度、湧出量、水位の現地観測を月 1 回実施。	源泉所有者	S40 年代～
	現行の現地観測を継続して行い、結果を調査日・天候とともに記録し保管する。	源泉所有者	H28 年度～
	各施設で同じ伝導率計を使用し、源泉情報の統一化を図る。	源泉所有者	H28 年度～
	森林の保全も含めた地域・温泉資源の保護を定期的に行う。	源泉所有者	H28 年度～
岩瀬湯本温泉	温度、湧出量、水位の現地観測を年 3 回実施。	源泉所有者	S60 年代～
天栄温泉	温度、湧出量の現地観測を年 2 回実施。	源泉所有者	S40 年代～

(3) 今後の取組方策

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉において、実施主体と調整の上、(2)の取り組みを継続する。

6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策

(1) 温泉の利用に当たっての関係設備等の状況

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉において温泉の利用に当たって使用している設備及び温泉利用の状況は、以下のとおりである。

浴用利用のみ

温泉地	源泉数	浴用利用施設までの設備	浴用利用施設数
二岐温泉	8	引湯管、貯湯槽、排水管、流量計	旅館 6 施設
岩瀬湯本温泉	1	引湯管、排水管	旅館 2 施設
天栄温泉	1	引湯管、排水管	旅館 1 施設

(2) 取組の現状

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉において温泉の利用に当たって使用している設備について、現在講じている衛生面での取り組みの状況は、以下のとおりである。

設備	区分	取組	実施主体
源泉	自主的	・源泉について、渓流水及び浅層地下水が混入しないよう遮水対策を実施。	源泉所有者

引湯管	自主的	<ul style="list-style-type: none"> ・源泉について、一般細菌やレジオネラ菌、大腸菌群等の検査を年に数回実施。 ・源泉(二岐温泉)について、2つのタンクを用い、源泉温度を一定に保つほか、ゴミ等の混入を防止。 ・引湯管について、バルブ、ドレン等の点検を不定期に実施。 ・引湯管(岩瀬湯本温泉)について、スケールの除去の清掃を週2回実施。(二岐温泉・天栄温泉は定期的実施。) 	源泉所有者
貯湯槽	条例等	<ul style="list-style-type: none"> ・貯湯槽について、点検を月に1回、清掃及び消毒を同時に実施。 	源泉所有者
浴槽	条例等	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての浴槽について、浴槽水の十分な補給・清浄を保持。 ・すべての浴槽について、レジオネラ菌属等の水質検査を1年に数回実施。 ・すべての浴槽について、浴槽水を完全に排出後清掃を毎日実施。 	設備所有者
設備周辺	自主的	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての設備周辺において、清掃を毎日実施。 	設備所有者・源泉所有者

(3) 今後の取組方策

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉において、さらに温泉を衛生的に良好に保つため、実施主体と調整の上、(2)の取り組みを継続するとともに、それらに加え、以下の取り組みを進める。

設備	区分	取組	実施主体
源泉	自主的	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の遮水対策をより強固なものとする。 	源泉所有者
引湯管	自主的	<ul style="list-style-type: none"> ・不定期に行っているバルブ、ドレン等の点検を月1回に変更し、保温等を確実に行う。 	源泉所有者
浴槽	条例等	<ul style="list-style-type: none"> ・浴槽のレジオネラ菌属等の検査を現状よりも多く実施。 	設備所有者

7. 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策

(1) 温泉の公共的利用の状況

二岐温泉と岩瀬湯本温泉は、9世紀頃の開湯以来、効能が豊富であることから多くの湯治客から人気を集まるようになり、現在は湯治客のみならず、天栄村を代表する温泉郷として多くの観光客にも人気を集めている温泉群である。また、天栄温泉は施設が1軒のみではあるが、明治時代の開湯以降、動脈硬化等に効果があることから、多くのリピーターに支持されている温泉である。しかし、平成23年に発生した東日本大震災では各温泉施設は甚大な被害を受けた。そのような状況下でも修繕と並行しながら営業を再開。未だ震災前の利用客数には及ばないだけでなく、近年は新型コロナウイルス感染拡大により多大なる影響を受け、利用客数は激減している。

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉における最近の温泉利用状況は、以下のとおりである。

(単位：人)

源泉地	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
二岐温泉	宿泊	7,796	8,520	6,138
	日帰	3,858	3,401	2,711
岩瀬湯本温泉	宿泊	2,037	2,060	1,241
	日帰	379	270	102
天栄温泉	宿泊	549	632	556
	日帰	605	721	118
小計	宿泊	10,382	11,212	7,935
	日帰	4,842	4,392	2,931

令和2年度の温泉の利用者数

(単位：人)

温泉地	区分	施設数	利用者数					
			4月	5月	6月	7月	8月	9月
二岐温泉	宿泊	4	132	150	338	497	729	605
	日帰	2	100	205	241	277	339	300
岩瀬湯本温泉	宿泊	2	12	0	72	124	188	134
	日帰	2	0	0	6	0	10	0
天栄温泉	宿泊	1	8	0	73	56	52	76
	日帰	1	5	0	0	38	25	28
小計	宿泊	7	152	150	483	677	969	815
	日帰	5	105	205	247	315	374	328
合計		12	257	355	730	992	1,343	1,143

利用者数						
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,067	1,247	538	323	199	313	6,138
364	430	131	97	117	110	2,711
194	223	130	57	28	79	1,241
0	31	45	0	0	10	102
77	120	30	22	14	28	556
4	0	12	2	2	2	118
1,338	1,590	698	402	241	420	7,935
368	461	188	99	119	122	2,931

(2) 取組の現状

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉において、温泉の公共的利用の増進を図るため、現在行っている取り組みの状況は、以下のとおりである。

温泉地	取組	実施主体
二岐温泉	二岐山山開きを開催し、村への協賛として温泉利用増進のため参加者全員に二岐温泉及び岩瀬湯本温泉の無料入浴券を配布。	天栄村
	新白河駅よりマイクロバス「湯ったりヤーコン号」を運行。	天栄村観光協会
	国立大学法人大阪大学、県旅館組合と共同で、セシウム濃度等の汚染量が、温泉に影響がないことを調査・確認	二岐温泉旅館組合
	福島県旅館ホテル生活衛生同業組合と連携し、宿泊プランを造成。	二岐温泉旅館組合
	高齢者向け湯治プランの充実を図るため、昔ながらのお膳による宴会を止めテーブル・椅子を導入。	二岐温泉旅館組合
	交通手段のない高齢者に対し、介護予防を目的に通所によるミニデイサービスを行う「湯ったりミニデイサービス」を自治体の協力により実施。	天栄村 二岐温泉旅館組合
	二岐地区は大川羽鳥県立自然公園に指定されており、ブナやコブナラ等の原生林の散策を実施し、環境の保全運動等に努めている。	二岐温泉旅館組合
	環境大臣に国民保養温泉地として指定されたことを受け、連泊宿泊用の「新湯治プラン」を考案し保健休養の増進を図るとともに岩瀬湯本温泉及び天栄温泉と連携したお得なサービスを提供。	天栄村観光協会

岩瀬湯本温泉	二岐山山開きを開催し、村への協賛として温泉利用増進のため参加者全員に二岐温泉及び岩瀬湯本温泉の無料入浴券を配布。	天栄村
	JR新白河駅よりマイクロバス「湯ったりヤーコン号」を運行。	天栄村観光協会
	交通手段のない高齢者に対し、介護予防を目的に通所によるミニデイサービスを行う「湯ったりミニデイサービス」を自治体の協力により実施。	天栄村 岩瀬湯本温泉旅館組合
	環境大臣に国民保養温泉地として指定されたことを受け、連泊宿泊用の「新湯治プラン」を考案し保健休養の増進を図るとともに二岐温泉及び天栄温泉と連携したお得なサービスを提供。	天栄村観光協会
天栄温泉	東日本大震災以降、健康増進及び利用増進のため、1週間に2回ずつのマッサージプランを作成。	源泉所有者
	動脈硬化等の効能を活かしたプランにより、提携医師より患者を紹介していただき、湯治による利用増進に繋げている。	源泉所有者
	交通手段のない高齢者に対し、介護予防を目的に通所によるミニデイサービスを行う「湯ったりミニデイサービス」を自治体の協力により実施。	天栄村 天栄温泉
	環境大臣に国民保養温泉地として指定されたことを受け、連泊宿泊用の「新湯治プラン」を考案し保健休養の増進を図るとともに二岐温泉及び岩瀬湯本と連携したお得なサービスを提供。	天栄村観光協会

(3) 今後の取組方策

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉において、さらに各温泉の公共的利用の増進を図るため、環境の保全や環境配慮等に努めながら、同温泉を象徴する景観や施設などの観光資源や自然資源を保全・活用していく温泉地を目指し、実施主体と調整の上、(2)の取り組みを継続するとともに、それらに加え、以下の取り組みを進める。

温泉地	取組	実施主体
二岐温泉 岩瀬湯本温泉	各温泉において、温泉入浴の適切な指導ができる温泉入浴指導員の充実を目指す。	天栄村 天栄村観光協会
天栄温泉	ザ・湯治と名を付けて、湯治プランを充実させ、健康増進・病気の緩和予防に利用してもらえよう努めていく。	天栄温泉
	温泉街をはじめとする観光地を中心に、環境美化活動を行い綺麗な温泉地をアピールする。	天栄村観光協会

	中高年層の連泊増進に向けた PR 活動や新規宿泊プラン等の増設に努めていく。	天栄村 天栄村観光協会 各温泉施設
	二岐温泉は四季折々の自然が楽しめる数少ない秘湯であるため、これらの高齢化社会において、中高年層の方々がゆっくりと温泉を楽しめるよう、少人数でも車による送迎を実施し、利用客増進、客層の拡大に努めていく。また、ブナ、あすなるの混成林は全国でも価値が高いため、混成林散策等のイベントやボランティアガイドの育成などを企画。	二岐温泉旅館組合

8. 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画

(1) 公共の用に供する施設の状況

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉における公共の用に供する施設の状況は、以下のとおりである。

温泉地	区分	施設
二岐温泉	公有施設	道路（国道 118 号線、村道二岐線） スキー場、二岐山、遊歩道
	私有施設	旅館（6 施設）
岩瀬湯本温泉	公有施設	道路（国道 118 号線、村道湯本一号線） 公園（1 箇所） 診療所（1 施設） 集会所（1 施設） 体育館（1 施設） 公民館（1 施設） 幼稚園（1 施設） 公園（1 施設）
	私有施設	旅館（2 施設）
天栄温泉	公有施設	道路（国道 118 号線）
	私有施設	旅館（1 施設）

(2) 取組の現状

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉において、高齢者、障害者等に配慮したまちづくりのため、現在行っている取り組みの状況は以下のとおりである。

温泉地	区分	施設	取組	実施主体
二岐温泉	公有施設	道路	村のほぼ中央に分水嶺をなす「鳳坂峠」は急カーブや急勾配が続き、特に冬期間では路面凍結等により安全性や利便性で課題となっていたが、令和 4 年 11 月 27 日の「鳳坂トンネル」開通により、安全な交通を確保した。	福島県

	私有施設	交通	高齢者の生きがいと社会参加を促進し、心身機能の維持向上を図り、湯治も含め介護予防を目的に通所による「湯ったりミニデイサービス」の運行を実施。	天栄村
		建築物	旅館 6 軒 階段・入口等への手すりの設置。	二岐温泉旅館組合
岩瀬湯本温泉	公有施設	道路	村のほぼ中央に分水嶺をなす「鳳坂峠」は急カーブや急勾配が続き、特に冬期間では路面凍結等により安全性や利便性で課題となっていたが、令和 4 年 11 月 27 日の「鳳坂トンネル」開通により、安全な交通を確保した。	福島県
	私有施設	交通	高齢者の生きがいと社会参加を促進し、心身機能の維持向上を図り、湯治も含め介護予防を目的に通所による「湯ったりミニデイサービス」の運行を実施。	天栄村
		建築物	旅館 2 軒 階段・入口等への手すりの設置。	岩瀬湯本温泉旅館組合
天栄温泉	公有施設	道路	村のほぼ中央に分水嶺をなす「鳳坂峠」は急カーブや急勾配が続き、特に冬期間では路面凍結等により安全性や利便性で課題となっていたが、令和 4 年 11 月 27 日の「鳳坂トンネル」開通により、安全な交通を確保した。	福島県
	私有施設	交通	高齢者の生きがいと社会参加を促進し、心身機能の維持向上を図り、湯治も含め介護予防を目的に通所による「湯ったりミニデイサービス」の運行を実施。	天栄村
		建築物	旅館 1 軒 階段・入口等への手すりの設置。	天栄温泉

(3) 今後の取組方策

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉において、さらに高齢者、障害者等に配慮したまちづ

くりを図るため、実施主体と調整の上、(2)の取り組みを継続するとともに、それらに加え以下の取り組みを進める。

温泉地	区分	施設	取組	実施主体
二岐温泉 岩瀬湯本温泉 天栄温泉	公有施設	道路	路線を調査し、高齢者等に不都合な箇所は改修を検討する。	福島県・天栄村
		建築物	各施設において、バリアフリー化や障害者用のトイレの整備等を検討する。	天栄村
		案内板	外国人観光客対応のための外国語表記の案内板の設置を検討する。	天栄村
	私有施設	建築物	未設置の施設においても、入口スロープや手摺りなどのバリアフリー化を推進。	各温泉施設

9. 災害防止対策に係る計画及び措置

(1) 温泉地の地勢及び災害の発生状況

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉のある天栄村は、そのほとんどが山岳地帯であることから、洪水や土砂災害等の可能性がある。二岐温泉においては、過去に台風等により露天風呂までの通路が決壊し、渓流水の増水による露天風呂への混入が発生した事がある。その他、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、村内各温泉郷も甚大な被害を受けたが、10年が経過した現在は施設の復旧も進み、各施設元気に経営を行っている。

(2) 計画及び措置の現状

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉において現在、災害防止に関し策定している計画及び講じられている措置は、以下のとおりである。

温泉地	計画又は措置	計画又は措置の概要
二岐温泉	土砂災害警戒区域の指定	「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき、福島県告示第317号として指定。
	地域防災計画(天栄村)	平成31年1月「天栄村地域防災計画見直しに係る計画書」完成。
岩瀬湯本温泉	土砂災害警戒区域の指定	「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき、福島県告示第142号として指定。
	地域防災計画(天栄村)	平成31年1月「天栄村地域防災計画見直しに係る計画書」完成。
天栄温泉	地域防災計画(天栄村)	平成31年1月「天栄村地域防災計画見直しに係る計画書」完成。

(3) 今後の取組方策

二岐温泉、岩瀬湯本温泉及び天栄温泉において、さらに災害の防止を図るため、実施主体と調整の上、(2)の計画及び措置に基づく取組みを継続するとともに、それらに加え、以下の取組みを進める。

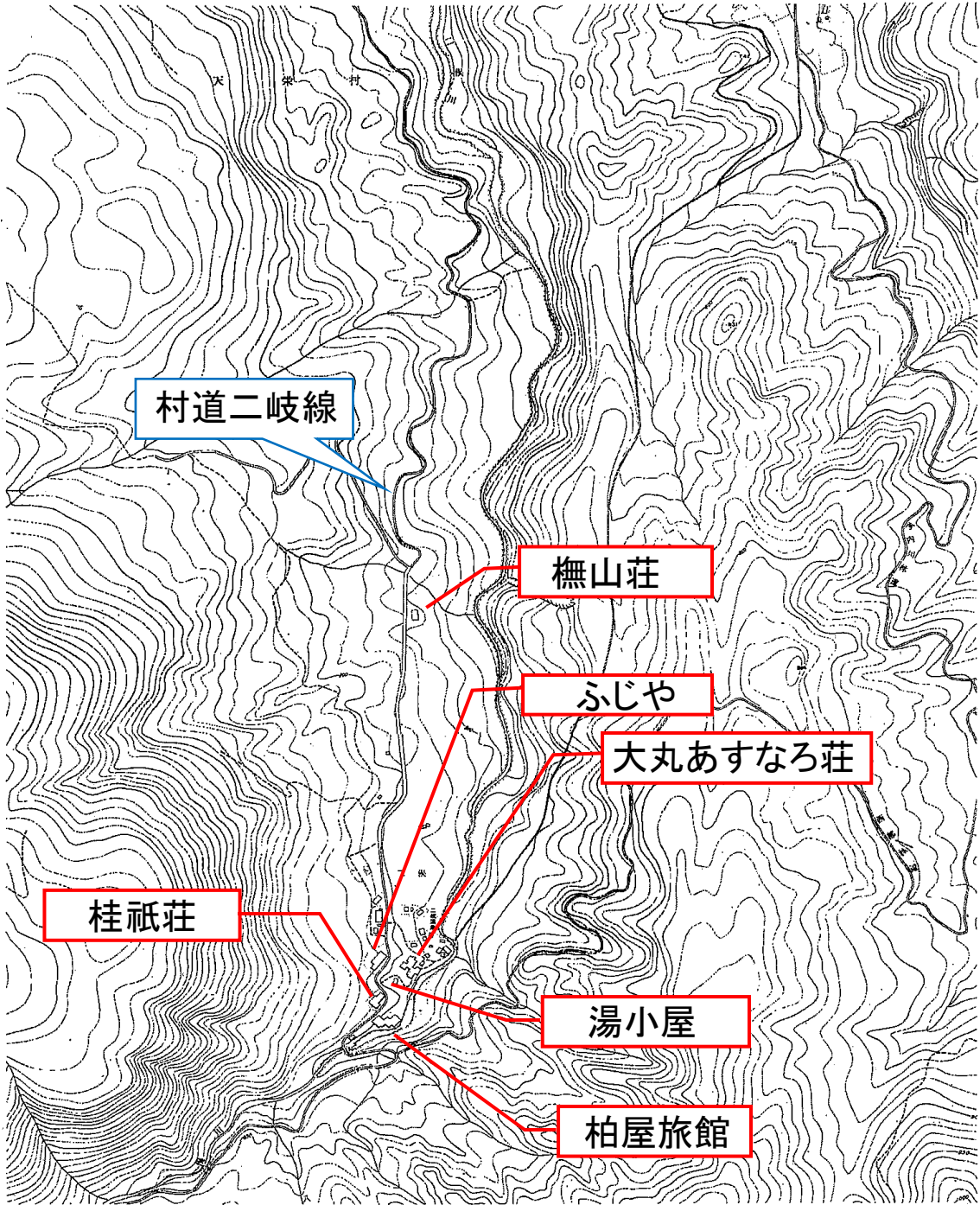
温泉地	取組	実施主体
二岐温泉 岩瀬湯本温泉 天栄温泉	各温泉地域において、作成された天栄村地域防災計画に基づき、災害時の宿泊客対等の避難、誘導等の自主防災計画を整備・充実を図る。	各温泉旅館組合

国民保養温泉地位置図




この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。
(承認番号) 平2東環、第94号
仙台市青葉区二丁目13-30 株式会社 山台地図の店 社
〒980 ☎ 022 (222) 8467 (代)

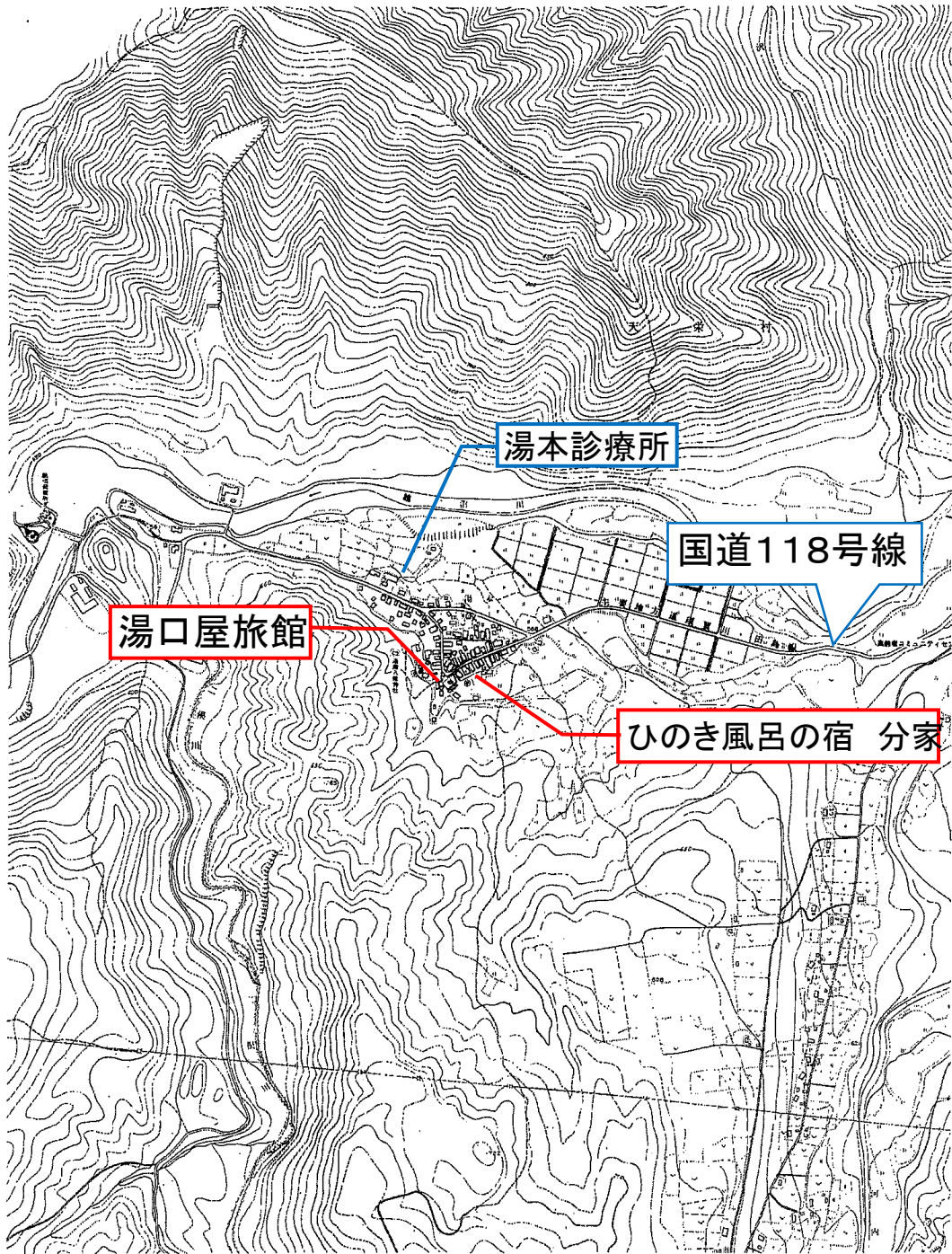
国民保養温泉地区区域図(二岐温泉)




SCALE: 1/10,000

凡 例	
	: 区 域
	: 温泉旅館等

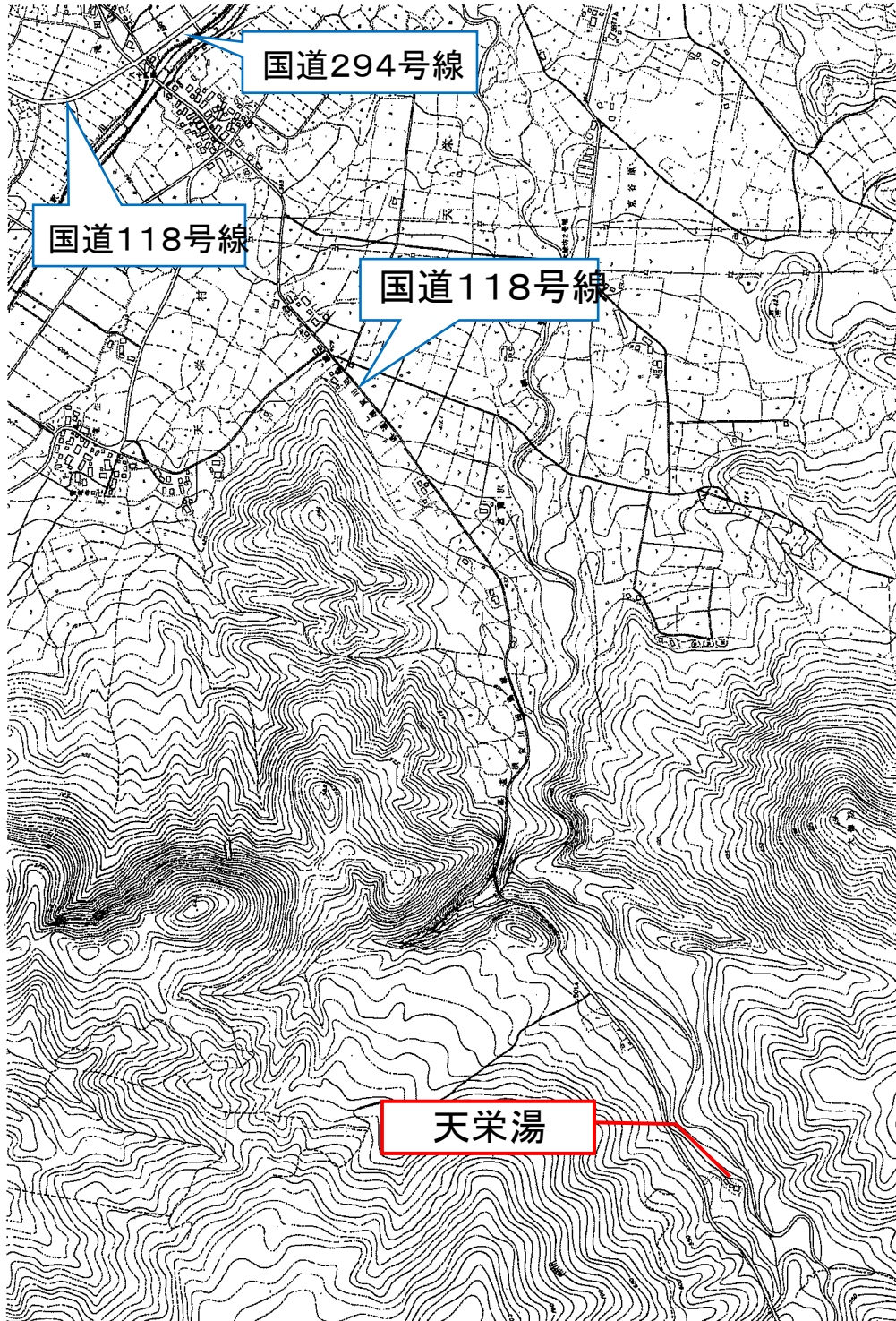
国民保養温泉地区区域図(岩瀬湯本温泉)




SCALE: 1/10,000

凡 例	
: 区域	
 : 温泉旅館等	

国民保養温泉地区区域図(天栄温泉)



SCALE: 1/10,000

凡	例
	: 区域
	: 温泉旅館等